

株式会社ジェイコム湘南・神奈川 横浜テレビ局・南横浜局

2022 年度 放送番組審議会 議事録

2022 年度の放送番組審議会は、2023 年 3 月 9 日（金）にジェイコム湘南・神奈川 横浜テレビ局で開催された。

＜放送番組審議会委員＞ （五十音順）

—ご出席—

新井 克弥 様 菊嶋 秀生 様 白石 亜紀子 様
鳥居 伸一郎 様 中村 牧 様

事業者側から局の現況、及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】（菊嶋会長による進行）

委員 現在映像が細分化されており TV を持っていない若い世代の TV 離れが顕著であるがどのような視聴者ターゲットを考えているのか。

事業者 現状視聴者の年齢層は高くファミリー層が多数を占めている。若い人達へのアプローチは非常に課題であると考えている。番組の YouTube 化などという意見も出ている。今後課題として取り組んでいかなければならないし、何らかの形で取り上げていくようにする。

委員 視聴率はどうなのか、どのような番組が人気番組なのか。また、番組の広報はどのようにされているのか。

事業者 大きなイベントや街ブラ番組が人気。番組の PR は SNS 発信やロケ時に番組チラシを活用など配布し、日々周知告知をしている。まだまだ認知度向上の告知が必要だと思っている。

委員 この番組を見たいから J:COM に加入するという人もいないではないか。

事業者 LIVE ニュースで地元のことを視聴者が自分事として捉えていただける番組づ

くりをしている。

委員 マスクの必要性をどのように考えているか。生放送番組で視聴者からの FAX やメールなどリアルタイムで実施したらどうか。また横浜発信の番組を深掘してほしい。メディア（ラジオや新聞、フリーペーパー等）との連携もしていけたらどうか。

事業者 現状は距離やパーティションがあればマスクをしていないが 至近距離だとマスクはしている。表情もみえるのでマスクは外していきたいが感染状況を見ながら対応していく。横浜ブランドに頼りすぎてしまっているのもより深い細かいところの取材をしていきたい。メディア連携も 他の拠点だと WEB ニュースと連携しているので今後検討していく。

委員 番組制作に費用がかかると思うが、どうやって利益を出されているのか。

事業者 現状番組では利益はあまり出ていない状況。毎月の TV や NET 利用料を頂いている料金で制作している。 もちろん番組スポンサーへは日々提案している。また、地域サポーター制度があり、サポーターの皆様にご当社メディアを使ってもらい情報を発信してもらおうこともいいと思う。

委員 港北区、鶴見区など J:COM チャンネルを視聴できないエリアがある。

事業者 弊社ケーブルがいないエリアは視聴できないが、他のケーブルテレビ会社と番組の交換や共同制作をして、カバーしている。

委員 横浜をどう盛り上げていくか 街づくりのコンテンツ、歴史番組など地域の声をもっと増やしてもらうためにも J:COM に頑張ってもらいたい。人図鑑はよかったし、今の居酒屋石ちゃんも良いと思う。四国巡礼を参考にして神社を巡る番組などもいいと思う。

事業者 ご期待に添えるよう努力いたします。

会長 時間となりましたのでここで終了いたします。今日は貴重なご意見ありがとうございました。

以上